

5月号

# 情報ニュース

社会福祉法人 石川県聴覚障害者協会  
石川県聴覚障害者センター fax076-261-3021

ひとり一人のろう者の生活と権利を守る「若」

## 令和7年度 手話通訳・要約筆記派遣説明会

4月19日(土)石川県社会福祉会館大ホールにて、標記派遣説明会を開催し総勢100名の手話通訳者・要約筆記者が出席しました。



冒頭、達磨理事長は挨拶の中で、手話通訳者・要約筆記者の活躍を期待するとともに、きこえない・きこえにくい方ひとり一人に適切に対応いただくよう話されました。

今年度は新たに二級手話通訳者3名、パソコン要約筆記者1名、手書き要約筆記者1名が誕生しました。達磨理事長から登録証を授与し、会場からお祝いの拍手が送られました。(2025年度新規登録者の紹介は次頁)

藤平施設長からは、最新のろうあ運動に関する情報や派遣事業における報酬改定の動き、また若年層の育成が急務であること、合理的配慮の義務化などにより派遣動向が変化する可能性に関連して手話通訳・要約筆記技術のスキルアップのため研修で技術研鑽を重ねてほしいことを話されました。

現場の声を真摯に受け止め皆様の安全・安心に配慮した派遣を目指して参ります。



## 合同現任研修会 講演「望ましい情報保障の在り方」



派遣説明会に引き続き、手話通訳者・要約筆記者合同の現任研修会を実施し、相良啓子氏にご講演いただきました。

相良氏は手話類型論、歴史言語学を専門とされ、国立国語研究所で特別研究員として活躍されています。

ご自身の経験・職務から学び研究している手話言語や手話通訳について、技術面と心理面から適切な情報提供を行うための考え方や技術について、ご講演いただきました。

これらの内容は要約筆記者にとっても通じるものがあり参加者全員に良い学びとなりました。また世界や日本各地の数詞の手話について楽しくも興味深いお話をいただきました。



### 遠隔手話通訳アプリ『J-TALK』ライセンス終了のお知らせ

ジェー トーク

2020年より、新型コロナウイルス感染症の拡大を防ぎながら受診時にスマートフォンやタブレットを利用して遠隔で手話通訳を行うためのシステムとして県内で活用してまいりました『J-TALK』アプリは、2025年3月31日をもってライセンス利用を終了しています。つきましては、石川県聴覚障害者センターより発行し登録していただいている専用<ID>と<パスワード>が無効となることをお知らせいたします。今後の遠隔手話通訳体制については、現在検討中です。

県聴覚障害者センター  
説明動画



# 令和7年度新規 石川県登録手話通訳者・要約筆記者の紹介

## 手話通訳者（2級）




**かわさき のぞみ**  
**川崎 希望**

- ① 虹
- ② カフェ巡り・ジグソーパズル
- ③ デフスポーツ観戦
- ④ 色々な事に挑戦し、手話の技術も磨いていけるよう頑張ります。



**さいとう しおり**  
**齋藤 史織**


- ① あての会（予定）
- ② 阿波おどり（手話のきっかけ）
- ③ 石川の手話と石川弁の習得
- ④ 少しでも早くお役に立てるよう精進します。



**なかの じゅんこ**  
**中野 淳子**

- ① いなほ
- ② タンス・映画鑑賞
- ③ キャンプ
- ④ 信頼される通訳者になれるよう努力していきます。

## 要約筆記者（手書き）



**みやかわ ゆうこ**  
**宮川 裕子**

- ① 松任要約筆記(サ)、和の会
- ② 野菜作り、パン屋めぐり
- ③ 家中の物を断捨離
- ④ 養成講座やサークルでの学びを土台に、努力と経験を積み重ねていきたい。

## 要約筆記者（パソコン）



**やまきし なつこ**  
**山岸 夏子**

- ① 金沢要約筆記(サ)（予定）
- ② 子どもの試合観戦
- ③ 連続休暇を取って旅行
- ④ 利用者にとって最適な通訳ができるよう努力していきたい

質問内容

- ①サークル
- ②趣味
- ③今後やってみたいこと
- ④これからの抱負

## 令和7年度手話奉仕員養成講座(入門・基礎編)開講のお知らせ

お問合せは各市町村福祉課担当へ

すでに募集を締め切っている地域もあります。開講等の詳細は各地域の担当課へご相談ください。

入門編				基礎編			
七尾市	6/11～11/19	水	19:00～20:30	奥能登	4/23～11/19	水	18:00～20:00
羽咋市	5/22～10/30	木	19:00～21:00	津幡町	5/8～12/4	木	19:00～21:00
かほく市	6/12～12/18	木	19:00～21:00	金沢市	4/7～12/15	月	19:00～21:00
内灘町	7/3～12/4	木	19:00～21:00	金沢市	4/23～10/17	水	16:00～18:00
金沢市	6/10～12/2	火	10:00～12:00	野々市	5/28～12/17	水	19:00～21:00
金沢市	6/10～12/2	火	19:00～21:00	白山市	4/16～9/24	水	10:00～11:40
白山市	5/9～10/17	金	19:30～21:10	小松市	5/14～11/5	水	13:00～15:00
小松市	5/15～10/23	木	19:30～21:00	能美市	5/14～12/24	水	19:30～21:00
				加賀市	4/2～10/1	水	19:00～21:00

## 人事のお知らせ

金沢市障害福祉課において新たに手話通訳者が採用されました。聴覚障害者の社会参加と福祉の向上を目指して活躍されることを期待します。

金沢市障害福祉課  
田辺 百合子さん



## センター人事



本田職員が退職し、松本職員が入職しました。よろしくお願ひいたします。

皆さま大変お世話になりました。手話の楽しさと奥深さを知り、あたたかいろうの方や職員と過ごす毎日は、かけがえのないものでした。今後も少しずつ手話を勉強していければと思っています。本当にありがとうございました。【本田千絵】

新しく職員となりました。至らぬ点多いかと思いますが、皆様のお役に立てるよう頑張ります。どうぞよろしくお願ひいたします。【松本 沙織】



# 令和7年度新規 盲ろう者通訳・介助員新規登録者紹介



あさだ ゆう  
①浅田 由 (きこえる)  
② 金沢市  
③ あての会



のむら こ  
①野村 みね子 (きこえる)  
② 金沢市  
③ あての会



こばやし れいか  
①小林 令華 (きこえる)  
② 七尾市  
③ 未加入



ふるた みえこ  
①古田 美恵子 (きこえる)  
② 羽咋市  
③ 羽、やまびこ



まえだ かずえ  
①前田 和栄 (きこえる)  
② 七尾市  
③ 未加入



まつむら みほ  
①松村 美穂 (きこえる)  
② かほく市  
③ つつじの会



さかもと きんや  
①坂本 欣也 (きこえる)  
② 金沢市  
③ あての会



たんだか hitoshi  
①田高 等 (きこえない)  
② 金沢市



いけしま ゆかこ  
①池島 由賀子 (きこえる)  
② 金沢市  
③ あての会、てのひら



すみたに hitomi  
①墨谷 瞳 (きこえる)  
② 能登町



やまで tomiko  
①山出 登美子 (きこえる)  
② 羽咋市  
③ 羽



あだち kaori  
①安達 かおり (きこえにくい)  
② 小松市



せばた とおる  
①瀬端 徹 (きこえる)  
② 金沢市  
③あての会



あすま ayumi  
①東 歩実 (きこえる)  
② 金沢市  
③ 手の会

① 名前  
② 住所  
③ 手話サークル

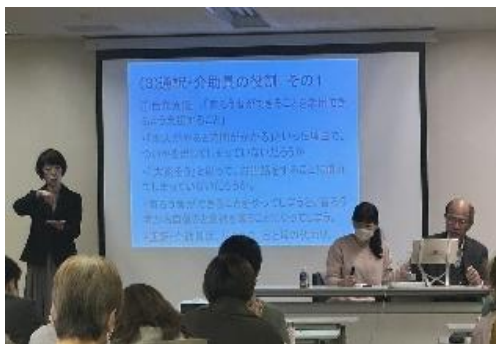
## 令和7年度盲ろう者通訳・介助員派遣説明会および現任研修会

4月5日(土)石川県女性センターにおいて、派遣説明および現任研修会を開催しました。新規登録者を含む54名が出席しました。新規登録者(昨年度途中登録者1名を含む)は15人中12人が出席されました。共に活動する仲間が大勢増えることは嬉しく思います。今後は、盲ろう者と積極的に交流し、スムーズに通訳・介助の支援ができるようになっていただきたいと思います。



派遣説明では、介助員皆さまにも情報共有のため、盲ろう者に説明している派遣ルール10ヶ条の内容を新たに加えて説明いたしました。盲ろう者と介助員がより良い関係を築き、気持ちよく行動を共にするために必要なルールですので、ご理解とご協力をいただけますようお願いいたします。

現任研修会では、全国盲ろう者協会職員の庵悟氏を東京からお招きし、テーマ「『じりつ』に繋がる通訳・介助支援について考える」をご講演いただきました。



『大変そう』とってつい手を出し、盲ろう者が自分でできることを介助員がやっちゃってしまっていないだろうか?、「自分のことを、自分の力でやる」ことを支援する(自立支援)、「自分のことは自分で決めて、自分の意思で行動や生活ができる」ような支援(自律支援)をしていただきたい、と盲ろう当事者からお話を伺い、出席者皆さまが自身の介助の方法を振り返り反省する、よい機会になったのではないのでしょうか。今後は二つの「じりつ」支援を行うことを心がけて通訳・介助にあたっていこうと思う、との感想が多く見られました。今回の学びを活かし、また今年度1年間、盲ろう者の「じりつ」を支える通訳・介助活動のご協力をよろしくお願いいたします。



地域活動支援センターろうあハウス

# ろうあハウスだより

Vol. 35 2025(令和7)年度 5月1日

## さまざまのこと思ひ出す桜かな ※松尾芭蕉の有名な句



昨年度は大変お世話になり、誠にありがとうございました。おかげさまで、ろうあハウスも更なる成長を遂げることができました。今年度も一層の努力を重ね、ろうあハウスが皆さまにとってより一層ご満足いただけるよう尽力いたします。

昨年的一年では震災や豪雨などいろいろあった年でした。

松尾芭蕉の「さまざまのこと思ひ出す 桜かな」がお気に入りの句です。句の意味はあの時の桜、この時の桜、思い出は、桜と重なります。桜の美しさが、記憶を鮮明によみがえらせるようです。

4月4日(金)、朝から利用者の皆さんと花見に行こうと言っていたのに、雨が降り出し、朝礼で「雨がやまなければ中止かもしれません。」と伝えました。

皆さんの日頃の行いが良かったのか？所長が晴れ男だったのか？日差しも出てきて お昼から花見に行けると皆さんに伝えました。一年に1回のお花見は毎年恒例行事ですが…。

今年は紺屋坂を登る足取りが少し辛そうでしたが眺望のあたりで桜を見ることができ満足し、記念写真を撮りました。

2025(令和7)年4月4日(金)

金沢市:兼六園

人数:21名

(利用者18名、職員3名)



ろうあハウスの利用者も70代と80代が多いので来年の花見の場所をどうするか？考えなくてはいけないと思いました。